



“畜産の光”消える 惣津会長ご逝去

最後まで面倒をみておられ、病床中でも心配しておられました。三月三十日畜産会の事務局長の新旧更代のため、蔵知さんと私くしが病院に出席し、視力も衰えておられ、寝たままでもふるふる手に辞令を持たれ、かすかな声で「たのむ」と言われました。その一言で惣津さんの思っておられるすべてを汲みとったかに感じたのであります。この一言が最後になってしまいました。が、この言葉は一忘れれることはできないでしょう。

惣津さんの人と成りやその功績は、在命中にいたただかれた三木賞や四月二十四日の合同葬の当日にただかれました。五位勲四等瑞宝章によってもわかります。うに、畜産界に大きな足跡を残されたのであります。

岡山県にとってかけがえのない貴重な人をなくしたことは誠に残念なことであり、私も私くしも御指導をいただいた一人として残念でなりません。

惣津さんは生きておられる。私達の心に燃やされていた情熱は、いつまでも私達の心に燃えつがれると思えます。

上原 茂喜記

去る四月八日午前十時頃、蔵知さんから惣津会長の危篤の電話を受けて、いそいで岡大附属病院にかけつけました。その時は酸素吸入をしておられ、意識もほとんどないようでありました。午後八時頃には落ちつかれたとのことでありました。翌朝七時四十分病院に着きました。ときには意識もなく、血圧も低下し脈博も触知することができないとのこと、七時五十分静かに六十六年の生涯を終わられたのであります。

入院中のある日、惣津さんが元氣な声で、元氣になったら君を先生にして盆栽をやりたい、と言われたことがあります。その時ハッとしました。思いでありました。その時は平素惣津さんは年中仕事に多忙な日を送っておられ、自分を犠牲にしておられたのでその人の口から盆栽の話が出たことは、長い闘病生活の中で初めて、自分自身の姿を振り返ってみられて、何にか味気ない気持ちがあったのではなにかと、私くしなりに強く感じたからではないかと、私くしなりに強く感じたからです。それほど仕事に情熱をかたむけておられたのであります。

仕事ばかりでなく人の世話も非常によくせられ、自分の先輩はもろろんのこと後輩や部下職員まで常に心に留めておられ、どんな部下でも決して見捨てないで

夢で終らせたくない夢

岡山県畜産課長 渡辺明喜

昨年来からの再度に亘る大巾な配合飼料の値上りは、このところ環境汚染問題等々によって停滞気味だった畜産に追い打ちをかけた格構で大きなショックを与え、生産意欲の低下を心配する向きが極めて大きい。

飼料原料の大部分を国外に依存している我が国の畜産にとって宿命的なものといってしまうまでも、これまでもなく有識者から強く指摘されてきたとおり、我が国畜産の構造的脆弱性、畜産にとって決定的要因である飼料生産基盤の確保が、おろそかにされているという、特異体質に今更慄然とならざるを得ない。

自体が、今日の養鶏、養豚の実態にみられるように、畜産の農業からの逸脱を促進せずにはおかないだろうことが憂慮される。そこで今後の酪農なり肉牛経営ににおいては、肥沃な国土と緑を永遠に保持し、いまわしい糞尿による環境汚染を解消するためにも、土地との結びつき、飼料基盤の確保について、この際改めて強く認識しなければならぬ。

の一にあたる八六〇万haが改良草地を含めた既耕地であるが、さらに未利用地の畜産的利用のため、現在建売牧場の開発が積極的に進められている。牧野開発の事業内容は、抜根、耕起、播種、牧柵、建物、給水施設などで、現在の我が国のそれと変りないが、ただ異なる点は（これが一番大切なこと）草地造成後の灌木や雑草の侵入を防止し、植生の定着を図るため、造成後数年間は、国が家畜を入れて直接管理し、そして十分生産が確保される段階になって初めて一般農家に分譲されるのである。この分譲単位はあくまでもエコノミックファームユニットとしてである。

農業が本来農地を生産手段として利用することを基本的特質として成立する産業である点からいって、この構造的脆弱性が克服されない限り、生産の拡大それ

それにつけても今尚強い印象として思われるのは、一昨年末直接見聞することのできたニュージランドの畜産、殊に土地利用の実態である。なかでも建売牧場とエコノミックファームユニット（経済的農場単位）制度は我が国の現状からすれば夢のようなことではあるが、健全な畜産の発展を希ううえから夢で終らせたくない願うや切である。

即ちニュージランドでは国土の三分

即ちニュージランドでは国土の三分

即ち乳牛五〇／六〇頭飼養可能の広さ

即ち乳牛五〇／六〇頭飼養可能の広さ

四月号目次

夢で終らせたくない夢……………渡辺明喜…1
酪農の現状と問題点……………花尾省治…2
糞尿処理の基本方向……………松下維浄…4
大阪だより……………石原和太…9
昭和のダイゴ味……………諏訪一男…13
◇鶏試だより……………諏訪一男…13
コンサル会の広場……………諏訪一男…13
がんばっております……………諏訪一男…13
流下式座談会……………甲田 斉…18
畜産関係金融制度……………甲田 斉…18
この頃思うこと……………葉山六蔵…7
就任あいさつ……………石井敏雄…8
盆栽あれこれ……………凡風人…10

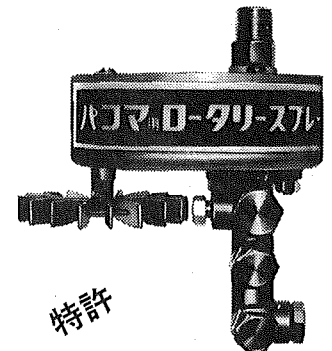
人手をかけずにパコマ豚体噴霧ができる

豚舎・豚体自動噴霧装置

パコマ用ロータリースプレー

SEP, ARの防止に

特許



※お問合せは林薬局へ
TEL 0862-24-6101

Eisai エーザイ
東京都文京区小石川4

の土地で、最も集約的草地の場合に例を
とれば二七％である。草地の生産性が三
分の一であれば八一％、二分の一なら五
四％、全国に分布する草地の生産性が厳
密にいつて各牧場毎に格差があるので、
画一的なユニットを規定している数字は
全くないのである。何でも画一的に進め
ようとする我が国と全く異なり、ここにニ
ュージランド農政の柔軟性と実践性が

うかがえる。とにかくこうしたエコノミ
ックファームユニットの概念が官民の間
に確立しているため、政府はこの基準に
達しない零細な農民をなんとかこの規模
にまで到達させるため、場合によっては
国有地を解放し、あるいは牧場の私有
権の制限まで行なっているのである。

私有地の制限は我が国では到底考えら
れないことであるが、全面積の七〇％を
占める山林原野の未利用地を開発して既
農地と合せた有効利用により、このエコ
ノミックファームユニットの営農を我が
国でも可能にしたものである。

による土地買占めによって(工場、ゴル
フ場の建設)農地(酪農適地)は失われ
るだけでなく、地価は異常な値上がりとな
っている。このような農地の喪失が果
てしなく続くとすれば、安心して酪農に
いそしむことができず意欲を失うこと必
然である。

酪農の現状と問題点

岡山県酪連参事 花尾省治

生乳の需給は需要が停滞すれば供給過
剩となるのがこれまでの筋道であったが、
四十五年頃から供給も需要もアベックで
鈍化、いわゆる「縮小均衡型」という酪
農史上に経験したことのない異常現象を
呈した。

乳牛資源に悪影響を及ぼしている。
また畜産公害の処理および乳質改善に
からむ経費の増大、土地の入手難、地価
および労賃の高騰等があり、酪農経営そ
のものを一層厳しいものに迫り込み再び
生乳生産は停滞している。

これまで停滞していた生乳生産が昨年
六月頃から幾分上向きに転じやや安定し
てきたが、それが本年一月からの思いが
けない配合飼料価格の上昇により酪農民
に不安をもたらした。加えて食生活の高度
化による牛肉の旺盛な需要は、国内生産
だけではこれに足りきれず肉価は異常高
値をよび、ために乳牛の屠殺数の増加は

農林省はさきに昭和五十七年度を目標
とした「農産物需給の展望と生産目標」
を示したが牛乳、乳製品の需要量は今後
とも増加し、五十七年度の全体需要量は
四十五年度の二倍弱の九二〇万トン程度
になるとみている。一方生産目標は「重
要な国民の栄養源であることから生産性
の向上を図りつつ国内で完全自給する」

意図を示している。しかも生乳生産の停
滞は現状からすれば大きな情勢の変化が
ない限り更に深みにはいって行くのでな
かるうか。
だとすれば、国が策定した生産目標の
ように今後生産が進められてゆけるかが
疑問となる。この際、国・県・生産者が
共々現実を直視し酪農危機打開の方途を
講じなければ手おくれとなる。

最近の工業化、市街化の進展、資本金
による土地買占めによって(工場、ゴル
フ場の建設)農地(酪農適地)は失われ
るだけでなく、地価は異常な値上がりとな
っている。このような農地の喪失が果
てしなく続くとすれば、安心して酪農に
いそしむことができず意欲を失うこと必
然である。

1. かけがえない酪農適地を守ろう

2. 乳価改訂と飼料の再値上げに対処

一方末端価格は二〇〇ccビン四円の値
上げが二月二十日頃になって行われた。
従来の乳価値上げは年度始めに行われる
のがこれまでの常道であった。今回は年
度中途であり、しかも末端値上げが生産
者乳価改訂決定後にきめられた変則的の
もので、その間三六日間の空白ができた。
この空間分の支払いについて生産者、メ
ーカー間で問題となった。生産者乳価決
定後においてなお乳価交渉と同じことを
繰り返している。なにはともあれ中央
交渉での乳価折衝にビリオドを打つこと
ができた。

- (3) 畜産経営特別資金緊急融通措置
- (4) 条件緩和の金融対策を講ずる。
- (5) 円の変動相場移行に伴う輸入原
料価格低下分を配合飼料価格に反映させ
る行政指導の強化。

底を行っているが、更に一層の強化策を
講ぜねばならない。また県には牛乳検査
センターの設置、牛舎消毒車および指導
パトロール車設置の実施を願ひ、全県挙
げて乳質改善の実を挙げねばならない。
牛乳は国民の健康を守る栄養食料として
国内自給を図ると共に、無脂固形分も含
めて万人のよるこんで飲む、「うまい、
よい牛乳」の生産こそ生産者の努めであ
る。

飲用向乳価改訂は昨年七月交渉開始以
来、延々七ヶ月と四〇回以上に及ぶ乳価
交渉をへて一月十六日値上げが決定され
た。値上げ金額はキロ当たり七円五〇銭で
あり現行取引乳価に上乗せすることにな
る。

家畜ふん尿処理の基本方向と対策

中央畜産会技術主幹 松下 維 浄

家畜ふん尿による畜産環境の汚染は、公害の発生源として法令による規制を受けることとなり、合理的かつ経済的に畜産の環境を保全することが、とつきゅうを要する重要な課題となってきた。

一、畜産公害発生要因

有畜営農時代の家畜ふん尿は、重要な生産資材として扱われ、「厩肥は農の太宗なり」と称してきゅう肥の生産が奨励されて、施用した農地から米麦や飼料作物を生産し、これを家畜に与え、いわゆる自然の流れの中で抵抗なく利用されていた。その頃の農地は零細分散形の所有形態で、労働条件は最悪のものであったであろうが、農地と家畜は調和のとれた存在であった。

第二次大戦後の飛躍的な経済成長に伴い、わが国の畜産は食糧構造の変化に対応し、また、所得の増大をねらって急速な発展をみたが、諸外国の畜産に比べて発展の過程や土地基盤に大きな相違があり、おおくの問題をかかえている。もっとも深刻な問題となつてきている畜産公害の発生は、わが国の農業を背景とする畜産の特異な発展過程にその要因がある。

(一) 急速な家畜飼養規模の拡大と大型化の進展

養豚と養鶏経営にみられる規模拡大と專業化は、農地から離れた飼養形態に移行し、脱農業的畜産專業として発展をみている。このような経営規模は、目先の利潤を追求するあまり、ふん尿処理に無関心であったり、省力経営から省略化にながれたりして、ふん尿が畜舎の内外に累積停滞し、これが畜産公害発生要因となつてきている。

畜産経営者は、ふん尿処理施設に投資するだけの余裕がない。飼養規模が大きくなると、ふん尿処理施設に多額の資金が必要となるために、利潤の少ない畜産にとつては経営の根底をゆるがす問題であり、ちゅうちよする間に処理施設の設置が遅れているのも、畜産公害発生要因の一つであろう。

また、多額の借入金で処理施設の設置に要する経費として投入しても、その経費を生産物販売価格に上乗せすることがきわめて困難であり、処理施設から二次製品を生産する技術が開発されていないこともあつて、処理施設の設置が遅れる要因ともなつてきている。

(二) 都市住宅地の無秩序な外延的發展

都市周辺の人口増加に伴つて、都市住

宅は地域環境、立地条件を無視して無秩序な地域開発を行ない、農業地帯へと侵蝕している。農業地帯に進出した都市住民は、畜産に対する異和感から悪臭、水質汚濁、衛生害虫の発生、家畜の鳴き声などを畜産公害問題として誇張し、感情に訴え、畜産経営者はその対応にとまどつていくのが現状であろう。

(三) 畜産農家の公害防止に対する無関心

農村では河川が排水の場であることから、汚水を河川に流すことに無関心であるが、この農家意識は環境を保全しようとする社会の要請にはなっていない。生活環境を保全することは国民の義務であり、畜産農家といえども例外ではないことを認識せねばならない。

畜産公害は、二次産業などから発生する公害と本質的に、また、規模において格段の相違があるのに一連の規制を受けている。畜産経営といえども地域社会と調和がとれなければ存続がむずかしく、また、規制が先行しても窮地に追込まれて経営の存続が不能となるから、畜産公

害防止に対する措置に無関心ではおれない。

二、畜産公害の問題点

畜産公害としては、畜舎汚水による河川の汚濁が当面の重要問題である。農業地域への住宅侵蝕により、取り残された畜産が悪臭でじまもの扱いにされ、豚、にわとりが騒音の対象として問題にされている。

水質汚濁防止法による排水基準（一般基準）は、四十七年十月から公共用水域に畜舎汚水を排出するものに適用され、また、一定面積を有する豚房、牛房、馬房施設についても所定の届出をすること

になつてきている。

一方、一般住民の公害意識は敏感になり、環境保全の要求は根づよいものがあるだけに、効率的な汚水処理技術の開発が望まれており、実用的ふん尿処理技術の開発の遅れが問題にされている。

現在使用されている汚水処理施設は、施設費が莫大で運転経費も高額であるから、経営採算に見合うものを開発してほしいとする要望が強い。

家畜ふん尿を土地に還元することが推奨されているが、容易なことではない。土地条件から離れた畜産が進められているとき、他の作物と地域的結合を図って土地還元を促進するには、生産者組織の支援体制と指導組織体制の整備と強化が必要であるが、これらの組織は一部の地域によりやく芽ばえてきた程度である。

耕種園芸部門の土壌管理技術は、単純化されてきたといわれているが、作物の質なり量におよぼす有機質肥料の効果についての研究は十分でないとする意見があり、また、指導者の技術と知識も貧困であると指摘されている。

なお、農用地取得利用の権利調整の困難性、地価の高騰による経営移転の困難性など、おおくの問題が山積している。

三、対策の方向

(一) 効率的汚水処理施設の開発

(一) 計画的な開発対策の設定
畜産の安定的発展と近代化を促進するために、土地利用区分を明確にし、畜産用地の計画的な開発対策を設定することが必要である。

(二) 土地還元の促進
家畜ふん尿を有機質肥料として耕地に還元し、家畜と耕種作物が連携を保つことは、地力の低下が問題にされているとき、これが促進は重要な課題である。

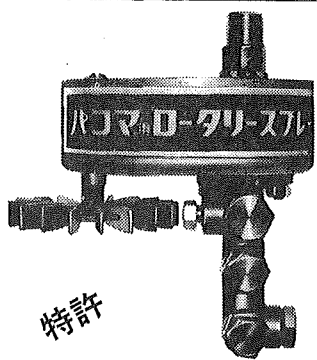
ふん尿の土地還元を促進する手段は、汚物感をなくし取り扱い易い状態にして供給することにあるが、そのために、急速堆肥、乾燥等の処理を行なつて、使い易い形態に加工することが必要である。

養豚、養鶏経営では自己所有の土地に還元ができるものはほとんどない。したがつて、牛の放牧、採草に利用する草地とのコンビネーションにより対処するか、また、借地の利用、耕種農業者との契約によつて、広範囲な地域利用を図ることが必要である。

人手をかけずにパコマ豚体噴霧ができる

豚舎・豚体自動噴霧装置
パコマ用ロータリースプレー

SEP, ARの防止に



Eisai エーザイ
東京都文京区小石川4

※お問合せは林薬局へ
TEL. 0862-24-6101

特許

「挨拶 蔵知 毅」
永い間お世話になりましたが、三
月末日をもって岡山県畜産会を停年
退職いたしました。この間皆様方
のご指導ご援助を頂きましたこと
を厚くお礼申し上げます。今後は中央畜
産会の参与という事で、岡山県畜
産会の一隅に席を頂き、別の立場か
ら畜産の発展のお手伝いをさせて頂
きますので、この上ともご指導とご
鞭撻を賜りますようお願い申しあげ
ます。

施設費が低廉で処理効率が高い実用的なふん尿処理施設の開発と、経営階層別なふん尿処理の標準施設の設定を急ぎ、また、既設の処理施設の改善と共同処理方式による投資効果、経済性の検討を行なうことが必要である。

これらの技術・経済開発は、各試験研究機関を組織化して、体系だった試験研究を実施することにより、確立するものであるから、早急に大型プロジェクトとしての試験研究機関の組織化を図ることが必要である。

(四) 実態把握と指導体制の整備

畜舎等特定施設については、新たに制度が設けられ、施設の構造、使用方法、汚水の処理方法などを届出ることになっているから、この届出を指導することによって実態を把握し、畜産経営者の要望に即応した具体的指導を実施することが必要である。

指導は行政、研究、普及の一体化による統一的指導を推進しなければならないが、そのためには、技術者の能力向上を図るための研修・講習を積極的に実施することが必要である。

また、地域推進協議会・普及所・関係市町村が中心となった巡回指導、県単位の畜産公害対策特別専門員の養成配置、畜産公害防止指導員の制度創設と養成訓

練なども、検討を要する事項と考えられる。

(五) 助成、融資などの処理

畜産基地開発基金協会等の創設による用地取得、基地強化、畜産団地造成などに対する積極的な大型予算の恒久投資、また、大規模畜産に対する県の助成、施設資金、経営資金の長期低利の融資、農業資金の活用が必要である。

このほか、環境が家畜飼養に適さない経営は、畜産立地調査を先行して、立地移動を誘導し、経営の移動を図り、また、畜産経営者の環境保全意識を高め、緑地帯の造成と隔離壁の設置など、外部との遮断を図る措置を講ずることも必要である。

このように、畜産環境の保全は生産力増強に優先する問題であり、環境保全は生産力増強の前提条件となってきた。したがって、畜産公害防止の方策のあり方いかん、あるいは、その方策の効果いかんが畜産業の盛衰に大きく影響するから、畜産公害対策は、新しい畜産の基本として、総合的施策を展開することが必要である。

組み立てる芸術

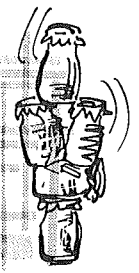
『将棋は組み立てる芸術です』と、話されていた升田前名人の言葉を記憶していますが、その意味は、相手の王将を倒すために、香車は盤上を一直線に走り、角は斜行し、金は前後左右に気を配るなど、虚々実々の戦いを展開しながらも、その間に、駒にはそれぞれに座が与えられ、全体としてみれば、躍動する芸術作品

この頃 恩こうこと

山 六 花

農業に従事する私達にとっては、誠に縁が遠いように思われ、まして、これを作り出すなどということは、お互い正気の沙汰とも思われず、精々が鑑賞と称して眺める程度のことです。

しかし、将棋が組み立てる芸術であること聞かされてみますと、私達が、牛を養い、種付けをして子牛を産ませ、さらに乳を搾るといふことは、将棋以上に組み立てる芸術だ、といってもよいと思えます。



とかく、パンのみを求めがちな私達の日常生活が、精神的に少しでも豊かになるように思いますが、どうでしょう。



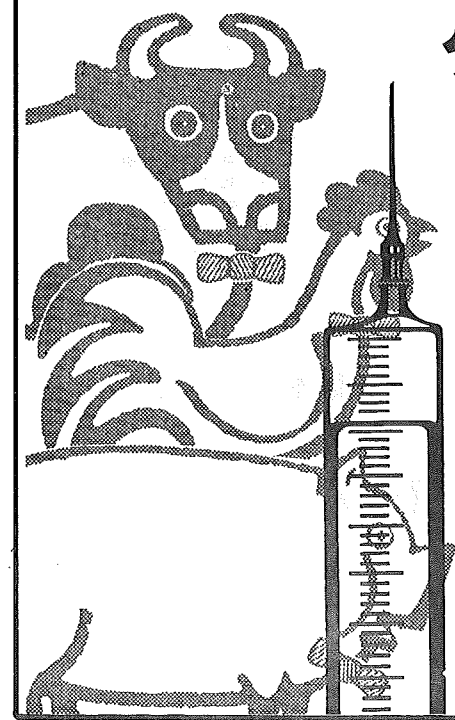
になっている。ということだと思えます。

確かに、生き物を対象とし、それから『物』を作り出すということは、将棋の駒を動かすこととは全く異ったさまざまな要素を、相互に均称を保ちながら組み立てた成果であり、至高の芸術作品だと自負してよいでしょう。

『人はパンのみによって生きるものにあらず』とは、キリストの言葉ですが、金儲けのために行われている畜産経営のなかに、他の意義あるもの一つとして、芸術性を見出すことができるとすれば、

私達の組み立てる芸術は、画廊に展示することもなく、自分が作り出し、自身で鑑賞し自らがよしと合点する種類のものですから、その作品の出来栄は、その人自身の努力によるものであることは当然ですし、その積み重ねは、その人の生涯を示す貴重な組み立てる芸術作品といえると思います。

各種細菌感染症に クロロマイセチン



- 広範かつ強力な抗菌作用
動物用クロロマイセチン筋注用
- 懸濁・溶解の手間がいらない
動物用クロロマイセチン注射液
- 高濃度の新製品
動物用クロロマイセチン注射液-S
- 幼弱動物に
動物用クロロマイセチンパルミテート液
- クロマイナビタミン剤
動物用クロマイレミックス

販売元
三共株式会社

NIPPON ZENYAKU

養鶏・畜産害虫防除の万能殺虫剤

フライホン

水溶性粉末殺虫剤

100g化粧缶×50
500g化粧缶×10

ハエ・カ・ゴキブリ
ハジラミ・サンバエ
マダニ・ワクモ

防除に新兵器！
取扱いが簡便！

NIPPON ZENYAKU

就任ご挨拶

石井敏雄

三十三年間の公務員生活に別れを告げ、四月一日付をもちまして酪農試験場長を最後に退職しました。
永い歳月、公私共にご指導ご鞭撻下さいました諸氏に、誌上を借りましてお礼申し上げます。
四月二日から岡山県畜産会に常勤コンサルタントとして勤務することになりました。

まだまだ伸びてゆくでしょう。この需要を八〇%まで国内生産で供給するとしましても最近の飼料の値上り、貿易の自由化に伴う外国からの畜産物の売込攻勢もありますとき、私達畜産関係者は輸入畜産物に対抗するためには新鮮で良質でしかもあまり高くない物価で供給することでしょう。
最近の畜産経営をみますと規模拡大に伴う多頭羽飼育の傾向を辿っています。これと平行に家畜の排泄する糞尿の処理、水質汚濁、臭気等いわゆる畜産公害が問題となり、早急に打開策を講じないかぎり畜産振興の阻害要因となっていることはご承知のとおりです。
畜産公害の打開策を講じるとともに、さらに一考を要することは、能力の高い家畜を飼育することも大切ではないでしょうか。

さてこれからの畜産を考えてみますと昨年の秋農林省が公表しました一〇年後（昭和五十二年）における需要の試算では牛乳関係が六〇%〜八〇%増、肉類関係が二・一〜二・五倍、鶏卵では二〇%増と見込んでいます。
食生活の改善により畜産物の需要はま



例えば、乳牛において乳量階層別労働報酬をみますと乳量三、〇〇〇〜四、〇〇〇kgでは三八、〇〇〇円ですが、六、〇〇〇〜七、〇〇〇kgの乳量では一一三、〇〇〇円（但し昭和四十五年）となつて

フレーク飼料

○肥育牛

乳牛用に抜群

○とうもろこしを蒸煮し

澱粉をアルファ化した

肥育牛、乳牛の新しい

飼料です。

中国物産株式会社

笠岡市笠岡 TEL 08656 ② 3154

大阪だより 石原和夫

昭和の醍醐味 牛乳を毎朝飲もう!!

息子から、「便りがなければ無事のたより」とよく言われる。私達の健康も、どこからも軌みがあれば健康と思ってい

酒一杯のうまさ、煙草一服のうまさ、ヒゲ剃りあとの滑らかさは、健康のパロメーターといってよいが、日常生活で食事がうまい、よく眠れる、気持ちよく出ることを世間では、快食、快眠、快通、快交の四信号といっている。人間が健康に暮すためには、出ずるを知って入るは飲食のことで、これらのバランスがとれていれば、調和のとれた生活が営める。

しかし多くの場合、一日の朝の行事がスムーズに行かず、悩んでいる人が多い。日々の快通には、第一に食物の質と量、ついで腸の動きのメカニズムを知っておく必要がある訳で、ごく常識的には、食物の消化がよいことであるが、スリ餌に偏すると必然の結果として、腸の運動が

鈍化して円滑な通じを阻害しかねない。排便は、腸内容が大腸壁に適当な刺激を与えて腸の自動運動が活発となり、排泄が促進されて、大腸本来の機能が、よりスムーズに行われることで、やはり、適度に繊維のある野菜、海藻、果物を毎日献立の中に加える必要がある。

日常生活に気をつけても今の社会環境では、便秘は起りうる。ことに年老いると腸の蠕動が鈍くなり、その傾向が一層強くなり、日常の脅威として常習性便秘がおそっている。そこで快通を補助する薬が必要になってくる。通じ薬のポピュラーなヒマン油は小腸に作用点があり、硫酸マグネシウムは腸内の水が腸壁から吸収されるのを妨げて排泄を容易にし、粉末寒天は便塊を増量して排出の圧力を強めるなど、それぞれの使用目的に応じて選択されるが、一般に慢性便秘に対し、薬を連用すると栄養失調など色々の障害が生じてくる。古い中国の権威ある本草の書「本草綱目」に「久しく服用すれば

豚については慢性伝染病のまん延によって飼料要求率が四・〇くらいですが、清浄豚の場合は三・〇となっています。他の家畜でも同様で、能力の低い家畜家きんを数だけ多くすることは無駄の面があり、常にフル操業することによって利潤を追求することでしょう。
畜産農家の経営を分析してみます時に考えられることは、自己の技術に伴う規模拡大をされているところは所得率は向上していますが、技術を十分修得されな人が高額所得を目標として規模拡大させている面ではなかなか苦労されているようです。

家畜を管理するとき特に考慮しなければいけない家畜環境、個体衛生等案外軽視されているむきがあります。
畜産農家の経営者をみたとき四十年代、五十代のかたが多いですが、後継者が次第に減少の傾向にあり、畜産が発展するか衰微するかは後継者と畜産公害に左右されるように考えられます。

畜産会に職を奉じました以上は粉骨細身努力する所存でございますので、今までも同様にご指導、ご鞭撻下さいますようお願い申し上げます。
簡単でございますがご挨拶致します。

奔馬にも追いつくほど健康をもちとる三黄瀉心散（大黃十黄連十黄芩）があるが、最も手近に米につぐ食品がある。

新鮮味あふれる牛乳を不浄のものと同じ時に語って申し訳れないが、牛乳のもつ通便作用を利用すれば、栄養になり、一石二鳥である。これには、毎朝目を覚まして口をすすいだあと、牛乳二本（四百cc）を飲む、そのあと、五十分（この時間を厳守して、この間何も口に入れないことがコツ）して朝食（胃に故障のない限り食べられます）を取る。そうすると、食事の終り頃、必ず便意を催すと、今年八十二才の日本薬理学会名誉会員大沢勝先生は、自ら実践され、声を大にして力説されている。

牛乳は、紀元前の物語や民話にみられるほど古くから存在し、日本には千三百年程前、中国から伝えられたようである。呼ばれた。その酥をさらに精製した甘味料のことを醍醐（現在一般に使われている醍醐味のはじまり）昔の人が如何に珍重していたか解らう）といつて、仏教用語で甘露、不死の薬という意味をもっている程、すばらしいもので、牛乳の栄養価値を今更語るまでもないが、食品洋風化による酸性化、総菜食品ブームによるビタミン不足の今日、吸収し易い状態にあるカルシウム、ビタミンを豊富にもつ

牛乳は、理想的な食品といえよう。この牛乳が、消費者の間で、「牛乳の内容をよく知って飲んでいない」人が多いのに驚かされる。ある土曜日の午後、私は、無作為的に電話のダイヤルを回して、テレフォンアンケートを試みた。その結果は、家庭で飲んでる牛乳は、「普通牛乳です」「加工乳です」と正確に答えた人は、三人に一人で、中には「普通牛乳って何ですか？」「無公害の新製品ですか？」など、実際に話してみても、内容など意外と関心のうすいことを感じた。また、ミネラル、ビタミン入りなど微量栄養素を添加した牛乳の全面禁止に対する消費者の反応は大半が賛成で、「ビタミン入りが価格差ほど効果があるとは思われない」「添加物による害の方が危険」を理由に純粋な牛乳の販売を望んでいるが、子供らは、口あたりのよい加工物を好む傾向が強かった。

育児、食生活に重要な役割をもつ牛乳の実態を知るため、府、市および消費者団体に足を運んだが近況のものがなく、四十六年春、大阪府が発表したもので、府全域から年令、学歴、職種別各層の生活モニターによる調査があるので、その結果をみると、牛乳の購入状況は、「たまに購入する」の一〇・一%と「ほとんど購入しない」の三・六%を除く八六・

三%の世帯が、多少とも牛乳を毎日購入していた。

その種類は、「普通牛乳のみ」三四・三%。「加工乳のみ」三九・一%の何れかを購入している世帯がほとんどで、二種類以上の牛乳、乳飲料を購入している世帯は一二%（普通加工乳四・一%。普通加工乳三%。加工乳飲料四・一%。三乳一・二%）。雪印乳業（普七・七%、加一〇・七%）と三本メーカーの占有率が三〇%以上と高く、それ以外では、毎日牛乳が南大阪を中心に比較的高い。その他のメーカーは、地域によっては、かなりまとまったものもあるが全体として目立ったものはなかった。購入価格は、普通牛乳（一八〇ccパック）で二十四円が二七%で最も多く、二十三元一五%、二十五円、二十六円がそれぞれ八%と、最低十七円から最高三十円まで値巾は広く、必ずしも一定しておらず、地域的にも、東大阪の大半が二十四円を占めたが、他の地域ではかなり分散している。加工乳（一八〇cc）も、三四%が二十八円二十五円、二十七円が一〇%、二十九円が一九%と普通牛乳同様、価格差がみられる。

購入する牛乳の内容量は、普通牛乳では、一八〇cc三・一八%。二〇〇cc四・一%。五〇〇cc三・六%。九〇〇cc五・九%。加工乳では、一八〇cc二七・八%。二〇〇cc一七・二%。五〇〇cc七・七%。九〇〇cc〇・六%。普通牛乳、加工乳とも一八〇ccが圧倒的に多く、両者で六割が占められている。また、家庭用として、普通牛乳の九〇〇ccパック詰めがかなり購入されている。一日の牛乳購入量（一世帯あたり総合計）は、一四〇ccが三六・七%で最も多く、ついで一六〇cc一八・三%。一八〇cc一〇・七%。一〇〇cc七・七%。一〇〇cc以上四・七%。たまたま購入する一〇・一%。ほとんど購入しない三・六%で、約半数の世帯が二、三本づつ購入していた。また世帯員数が

大きく影響するが、六〇cc以上購入している世帯が二一%もあった。

購入しているメーカーは、普通牛乳十六業者、加工乳十八業者からで、両者とも森永乳業（普通牛乳一五・四%、加工乳一・二%）明治乳業（普七・七%、加一〇・七%）雪印乳業（普七・一%、加一〇・七%）と三本メーカーの占有率が三〇%以上と高く、それ以外では、毎日牛乳が南大阪を中心に比較的高い。その他のメーカーは、地域によっては、かなりまとまったものもあるが全体として目立ったものはなかった。購入価格は、普通牛乳（一八〇ccパック）で二十四円が二七%で最も多く、二十三元一五%、二十五円、二十六円がそれぞれ八%と、最低十七円から最高三十円まで値巾は広く、必ずしも一定しておらず、地域的にも、東大阪の大半が二十四円を占めたが、他の地域ではかなり分散している。加工乳（一八〇cc）も、三四%が二十八円二十五円、二十七円が一〇%、二十九円が一九%と普通牛乳同様、価格差がみられる。

また、牛乳の購入方法と配達については、宅配が九一・八%と以外に多く、店頭購入は、地域的に大阪市、南大阪がやや多くみられたが、全体として七・五%しかなかった。宅配の回答者に対し、

「店頭買の方が、価格が安くなった場合の購入」をきくと、三〇・六%は販売店まで行くと答えたが、大半（六七・九%）の者は、価格の変動に関係なく宅配を望んでいた。

その理由は、「いちいち販売店に行くのが面倒」が七五・八%と最も多く、ついで、「月単位で集金に来て便利」が二五・三%。なかには、「宅配だと毎日忘れずに飲む」「割れもので持ち運びが不便」「決って早朝に飲める」「販売店が近くにない」などで、毎朝忘れずに届けてくれる便利さを求めているようである。

そして、その配達状況を見ると、「土、日曜日だけ隔日で、他は毎日配達」は三五・一%。「夏のみ毎日、他の季節は隔日配達」六%であったが、地域的に、大阪市の「毎日配達」が一九・二%と少ない反面、「土、日曜日だけ隔日で、他は毎日配達」や「夏のみ毎日、他の季節は隔日配達」をとる販売店が、七七%にも達していることに目を引いた。なかには、「日、月曜日が隔日配達」「火木土の週三回配達」などがあった。

また、「予約購入制が出来て宅配より販売店との予約購入が、仮に一本六円も安くなった場合、予約購入するか」の質問に対し、「希望する」が、六六・三%。「予約購入しない」が、二九・六%で、大きな値開きがあれば毎日の出費として関心をもち、反面、しない理由をみる

と、「いちいち店頭まで行くのがわずらわしい」が六六%と圧倒的に多く、ついで「一日何本必要かわからない」が二〇%。「月単位で集金する、宅配がよい」が四%あって、宅配の魅力は、店頭まで出かけるわずらわしさがないことである。販売コスト低減のワンウェイ方式をとる紙パックが、二〇%と大きく伸びた現在であるが、当時、牛乳容器に対する意見をきくと、「ガラスビンの方がよい」が五六・二%、「紙パック、ポリ容器詰めでもよい」が四〇・八%で、全体としては、ガラス容器のほうが好まれた。若い年令層ほど新しいパックに対する受容的意見が強かった。また、ビンを求める理由は（重複回答）「衛生的な気がする」の五五・八%と、「紙パックは中が見えないからどうも不安だ」の四七・四%とが主で、「ビンのほうが扱いやすい」二八・四%。「味がよいように思える」の一三・七%、その他「廃棄処分が面倒」とか「ポリ容器は公害のもと」が一六・八%とかなり多く、ついで「牛乳に化学反応が起らないという保証がない」「ビンのほうが丈夫」「ビンのまま温められる」「分割して使用するとき、不便」などビンに対する郷愁が深いようである。

配達の方法で価格を安くする方法として夏を除く、他の季節の隔日配達制に対する意見をきくと、五五・六%の者は、「隔日配達でもかまわない」と答えたが、「毎日配達でない」と困る」が三八・五%

また、牛乳の流通コストを下げるため、いくつかの牛乳の共同購入方法をあげ、各自の地域で将来、実施できるものをきくと、ほとんど（八五%）の者が何らかの方法でやれると答え、一番多かったのは、「一定場所まで配達してもらい、そこへ各家庭から取りに行く方法」で二七・八%、ついで「一定数量をグループで購入することを条件に販売業者と価格交渉を行ない、値引きさせる方法」の二六%、「生産地の農協と消費地の生協との間で直結取引をしているものを利用する」の一三%が主なもので、わずかであるが、「牛乳の処理業者または、販売業者から消費業者のグループが一括購入して、消費者側の責任において各消費者へ配分するとともに集金をする」三%。「販売業者の配達業務や集金業務の全部または、一部を消費者側が代行するもので、消費者が当番制で一定場所から各家庭へ配達

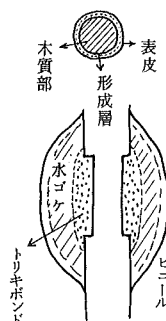
盆栽あれこれ

凡風人

取り木の方法

従来から行なわれていた取り木の方法は形成層を剥皮し水ゴケを巻く方法ですが黒松などでは発根するまでに相当の月日と技術を要し、そのうえ八割位は片根張りですがトリキボンダを使用すると比較的短時間に誰でも取り木を行うことができる。このトリキボンダを使用すると八割近くは根張り良好の結果が得られる。時期は三月の彼岸頃から七月頃まで、三月下旬頃取り木しますと大体七〇日位発根に要する。取り木の部位が地面上で保護しないと冬期間に凍らせる心配があるので、その年の内にはずす。黒松の場合は取り木の適する樹令は実生一〇〜一五年位のものである。しかし雑木の場合は松柏類に比べて太めの樹でも取り木することができ、管理の大切なことは水をきらさないこと根が出てから絶対に水をきらしてはいけない。

肥料は根がでてからは油粕を与える。取り木の順序は次のとおりである。(1) 切り出しナイフで形成層（表皮を剥ぐと緑色の層があらわれる）を剥皮し、形成層を完全に除去する。このとき剥皮は木の直径の二倍以上とする。



- (2) 削った部分にトリキボンダを水で固練りしたのを五ミリ近く塗る。
- (3) 塗り終わったら木の太さの三倍位水ゴケでまわりを包み、さらにその上をビニールで取り巻き、下側は硬く結び上側は雨水が入り易くするためゆるく結んでおく。
- (4) 毎日一回上側から水を注ぎ剥皮した部分が乾かないようにする。
- (5) 一カ月程たったらもう一度トリキボンダを小さじ半分位水にとかけてやる。この作業を一〇日に一回位六回続ける。
- (6) 九月から十月には八方根が出ているので剥皮の下の部分を切って水ゴケを取らないでそのまま鉢に植える。

SQUIBB 増体と肉質の改善にすばらしく効く
天然ホルモン肥育剤(耳根皮下移植剤)
シバベックス
S(去勢牛用)一黄色ベレット
H(雌牛用)一白色ベレット

輸入元 **日本スクイブ株式会社** 発売元 **昭和薬品化工株式会社**
東京都港区赤坂3丁目2番6号(赤坂中央ビル) 東京都中央区宝町1-5(味の素第一新館)

する方法」二・四%がある反面「わからぬ」「回答なし」が一四・八%と随分多いのに加え、「家事が忙がしく、活動する時間がないので宅配が一番よい」「流通面も大事だが、BHC汚染など公害のない、安心して飲める牛乳を提供してほしい」「かつて、グループ購入で一定場所まで取りに行ったが、消費者が好みのメーカーを主張して譲らず、失敗した」「グループ活動が不活発なので共同購入は、どの方法も実施不可能」「消費者が、業者の手伝いをしなければ、コストダウンできぬこと自体がおかしい」など、共同購入については、厳しく、批判的な意見が多かった。

大阪府(四十七年)は、酪農家七四〇戸、一六、三〇〇頭で、七一、六八九トンの牛乳生産に対し、処理量一八九、二五トンの充足率三七・九%である。各種飲料の売れ行きは、気温が大きく左右することで伸び悩みもあるが、牛乳は、BHC農薬汚染をはじめ、PCB、異種脂肪混入事件など阻害要因は大きく、反面、炭酸果汁飲料や乳酸菌飲料が、ここ数年驚異的な伸びを示し、牛乳が喰われていることもあってか、駅頭などで牛乳の立飲みがめっきり減った。

本四円値上げされたが、朝暗いうちからガチャガチャいわせる原始的流通機構も改善されず、消費者不在、政策不在と不満が多いときだけに、農林省は、冷凍冷蔵庫の普及に伴う容器の大型化、隔日配達と店頭売りの拡大、産地直結による共同購入の育成、販売店の協業化と思いきった流通改善を打ち出すとともに、公害問題で都市近郊酪農の離脱や農外所得の上昇による牛乳生産意欲減退の離農を盛り返す政策が樹てられよう。一方、消費者はよく知っていて、昨年全農が、自然はおいしいのキャッチフレーズに無調整、無添加の「農協牛乳」を売り出して、爆発的な人気を呼んだ。

牛乳不耐症(牛乳による下痢症)西洋人二〇%、東洋人八〇%、東南アジア人一〇%が乳糖を分解する酵素をもたないため、牛乳飲用で下痢が起る。このため、ラクターゼを添加した調整牛乳で、アレルギー現象が解消して飲用人口は増えよう。現在、欧米諸国に比べ、非常に低い消費量であるが、整腸作用のすばらしさと胃ガンなど医療的効用が認識されて、一億総国民の一日一本飲用運動の日も夢でなく、今後大きく伸びる作目として、自然的、社会的条件に恵まれた酪農家は、飼料基盤を確立するとともに、公共育成場の利用、施設整備による規模拡大をはかって、安定した経営を築いて下

養鶏試験場のページ

鶏のトラック輸送および転飼が産卵鶏に及ぼす影響について

専門研究員 諏訪 一男

最近、養鶏場の移転や養鶏団地の造成などにより、産卵中の成鶏を長時間かけて輸送し転飼することが多くなった。このことから産卵の低下など経済的な損失があり、補償問題にまで発展しているケースもある。

当場においても、昨年春、飼養中の産卵鶏を試験中途にもかかわらず移転飼養することになり、少しでも損失を軽減するよう努力を払った。

また、この機会を利用してトラック輸送と飼養場所の変化による鶏の生態と生産性の変化について調査を行った。

調査対象鶏は表1のとおりである。まず、鶏を輸送するにあたって留意した点は次のとおりである。

1 産卵中のピークを過ぎた成鶏はストレスに鋭敏であるため、取り扱いは極めていねいに行ない、輸送かごにも無理な詰め込みをしない。一かごに八羽程度とした。またトラックには三段積みとして鶏が蒸れないようにした。

2 転飼場所については鶏の斗争などを予防するため、平飼の場合は輸送前と同室のものを収容し、ケージの場合は隣同室をもとどおりに配列した。これは当場の場合、試験中であるためこのような特別の配慮をした。

輸送日の気象状態

輸送日の選定は四月下旬であり、ちよ

表1 調査対象鶏

品種	日齢	管理方式	羽数	備考
白レダ	330~424日	ケージからケージ	1,342	
		平飼から平飼	333	

表2 産卵成鶏

	輸送前		輸送後					
	2週	1	1	2	3	4	5	6
産卵率(ヘンデイ)%	65.3	67.6	62.7	61.7	59.7	61.9	60.7	61.4
1羽1日平均産卵量g	4.01	4.16	3.84	3.7.7	3.7.1	3.8.4	3.8.1	3.8.6

うど天候に恵まれ、気温も一五〇前後で不快指数は六〇から七〇で非常によい状況であった。

輸送鶏の状態

輸送鶏は極めて健康であったが、ようやく産み疲れのきざしが見える頃であり、また換羽の誘発も心配な日齢でもあった。産卵の状況は産卵率六六%、一羽一日

平均卵重量四一g程度の成績であった。

輸送とその時の鶏の状態

午前中の産卵時を避けて、午後二時頃から約三〇kmの舗装道路を信号待ちを合わせて五〇分かけてトラック輸送したが、鶏の損耗は皆無であり、状態も安静そのもので恐怖の様子は殆んど見られなかった。

新しい飼用場所に対する順応

平飼の場合は鶏舎環境の変化により室のすみに集まり不安の状態を示し、その状態は翌朝まで続いた。一方ケージの場合の不安の状態は一〜二時間程度であった。また平飼の場合は止り木に馴れるのに数日を要し、産卵箱には特に警戒心をもち、一か月以上経過しても馴れないものがあつた。

外傷・疾病・換羽

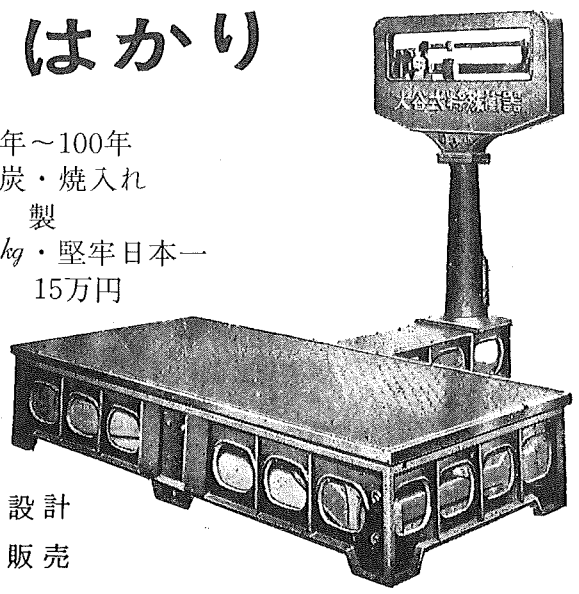
輸送中、転飼後において外傷や疾病が新しく発生することがなく、特に心配していた換羽休産鶏の発生も殆んど無かつた。

対象鶏全体の産卵成績

産卵成績に及ぼした影響については、

大谷の☆はかり

耐久力 50年~100年
高周波・浸炭・焼入れ
総 鑄鉄製
骨の重量80kg・堅牢日本一
暫定卸値 15万円



大谷式特殊衡器 } 製作・設計
規格台秤, 指示はかり } 修理・販売

元録二年創業 旧秤座
工場 岡山市長岡267 東岡山金属加工センター
有限会社 大谷製衡所
営業所 岡山市東島田町1丁目7番3号
電話 岡山(0862)31局4155番(代表)

がえばっております

コンサル会の広場

《流下式について》

(その2)

- 出席者
- 石原 正一郎 (邑久・長船 成一六・育三)
 - 大森 栄 (赤磐・山陽 成一一・育七)
 - 蔵知 毅 (岡山県畜産会事務局長)
 - 小村 豊正 (邑久・長船 成一六・育一〇)
 - 中尾 範雅 (岡山普及所邑久支所)
 - 平山 純雄 (邑久町役場)
 - 牧野 守吾 (邑久・長船 成一四・育一六)
 - 松崎 隆 (岡山・西大寺 成一八・育一五)
 - 雪吉 宏 (邑久・長船 成一六・育一四)
 - 牧野 勉 (岡山県畜産コンサル会長)

〇しきりをしました。

牧野・尿溜の深さの基準はバキュームの真空圧等の関連から二・七mといわれており、形状は地形によりますが、理想はどうでしょうか。

蔵知・最低三カ月分の大きさは必要でしよう。そしてできるだけ細長い長方形にして、しかもそれを三槽にして、三槽目をくみ出して施用する方法が、一番臭いも低く、メタンガスが出てチッ素分も少なくなるでしょうね。そしてしきりは尿溜の天井までいっばいにして、中央上部に流出口を作り、要するにしきりを天井のささえとすれば、尿溜の天井をそう厚くしなくても十分持ちこたえてくれます。

守吾・流出口を下にあげている人もあるようですが、上部にあげて、上をこさせるほうが良いでしょう。

蔵知・下にあげたのでは詰る心配があります。そしてしきりの部分には必ずマシホールを作り、中の状態がよく見えるようにし、時には一槽、二槽をも攪拌して底部に腐熟残渣がたまりすぎないようにくみ出すことも必要です。

牧野・尿溜で発生するガスが牛舎内に逆流するのを防ぐため、上セキは必ず必要と思われませんが、尿溜にもガス抜き装置が必要ですね。

蔵知・これから造る人は、ベンチレー

〇やすくつきます。

牧野・問題は大量の糞尿をいかにして処分するかです。私の施用例は前にも述べましたが、この糞尿を活用するのか、処理するのか大問題ですよ(笑)。

小村・金をかければ処理もできるでしょう。しかし、我々はまず土地利用を考えることが一番でしょう。

石原・また土地還元が一番安上がりですよ。しかし、土地還元が飽和状態になった時どうするかです。チッ素過多にどう対処したらよいか。私も現在無茶からイタリアの追肥に頭からかけているのです。捨て場がないから、一区画イタリアンをつぶすつもりで一〇a当り六〇tくらいの糞尿をかけております。厚さが二寸くらいありますよ。

牧野・この糞尿施用問題はまだ研究段階でだれも自信をもって結果のいえる人はいないらしいです。しかし我々はそうはいっておれない。研究結果より我々の



軟卵、薄殻卵の発生

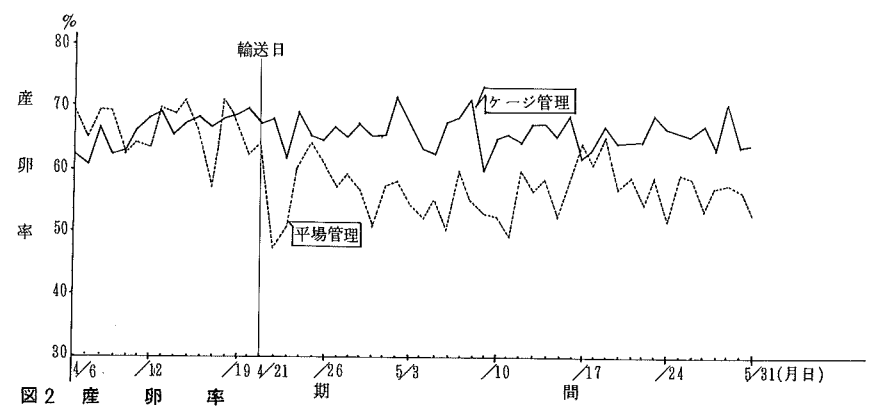
一般にストレスがあつた場合は卵殻に産卵率の推移についてケージ管略と平飼に区分し比較してみると、図2のとおりケージ管理の場合は比較的低下の度合が軽く、平飼の場合はかなり悪影響があつた。

巢外卵の発生

平飼の場合の巢外卵の発生は、鶏房の構造、産卵箱の位置と構造、室内の明暗などにより多少異なるが、今回の場合は比較的多発し、しかも長期間発生しつづけた。このことから鶏の産卵箱に対する感受性は鋭敏であることが判つた。

ビタミン剤など

一般にストレスによる鶏の損耗を軽減するためビタミン剤などを与えるが、今回の場合は一般状態ならびに産卵成績に



特別な効果は認められなかった。

以上のことから、産卵中でしかも初産後六か月以上経過し、ようやく産み疲れがくる頃であつたにもかかわらず、外傷はなく、疾病ことに卵壁症や卵秘症の発生がなく、さらに換羽の誘発もなかつた。しかし、産卵成績については輸送直後の二〜三日は著しく低下し、その後は平飼の場合若干低い成績で推移し、ケージ管理の場合は殆んど回復した。このことから鶏の輸送は十分に注意を払えば案外損耗が少ないことがわかり、またビタミン剤などのストレス緩和の効果は予想していた程ではなかつた。

しかし、季節とか、鶏の状態などの多くの諸条件があるので、今回の場合のように損耗は少ないものであると断定することはよくない。

またビタミン剤などの効果も無いものと定めつけることもよくない。

したがって、鶏の輸送および転飼を行なう場合は、諸条件を総合的に検討して鶏の状態を加え、十分に注意を払うことにより大きな損耗を防ぐことは確かである。

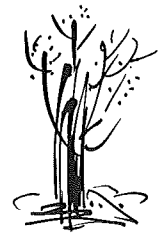


表2および図1に示したとおりで、輸送直後の二〜三日は急激な産卵低下があり、その後は回復に向かうが、輸送前の産卵率よりおよそ5%前後低い成績が続いた。また一羽一日平均産卵重量も二・八g程度少ない成績で推移し、輸送と転飼により経済的な損失は多少にかかわらず件うものと考えられる。

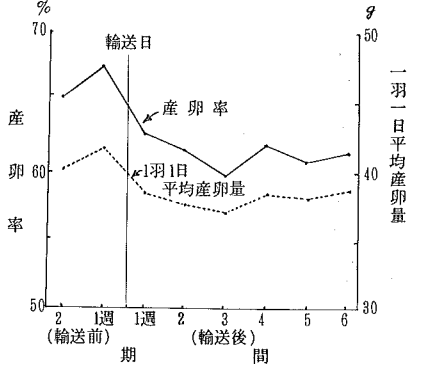


図1 産卵率および一羽一日平均産卵量

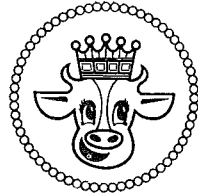
乳は国産 エサは全酪

団結は力！
系統利用は団結の象徴

最高の水準をゆく全酪連乳用子牛育成体系
(乳牛の飼料は専門の全酪連におまかせ下さい)

主要取扱品目

専管、増産ふすま。外国大麦飼料。
カーフトップ。脱粉飼料。カーフスターター。
幼牛用、搾乳用配合飼料。
その他酪農用飼料資材全般。
市乳、バター、チーズ、練乳、粉乳。



日夜酪農民の利益増進に奉仕する酪農専門農協！
全国酪農業協同組合連合会



牛乳の20%増産の秘訣は
蚊・蠅のいない好環境から

DAIRY
酪農かとりせんこう

■本品はピレトリンだけを含有、
問題になったDDT、BHC、
ドリリン等の塩素系薬剤は一切含
んでおりません。従って牛の健
康をそこなわず、しかも牛乳中
にも毒性が検出されません。
お求めは所属の組合へ

豊年薬品商会

大阪市住吉区東加賀屋町3-5-2
電話 大阪 06 (671)5662(代表)
郵便番号 558

長い間本誌の編集を担当された蔵
知さんに替って上原が四月号から担当す
ることになりましたので、ご支援とご協
力をお願い致します。
四月九日午前七時五十五分私達畜産人
の親ともいふべき大先輩の惣津さんが他
界されましたことは、くれぐれも残念な
ことでもあります。
岡山の畜産は終戦から今日まで苦難の
道程をたどってきましたが、この変せん
を振り返ってみますと常に失面に立って、
情熱的に体をはって活動せられていた人
は惣津さんであったことは周知のこと
であります。
後に続く者としてその遺志をつぎ畜産
岡山を発展せしめることが惣津さんに報
酬することでありたいと願っています。
静かにご冥福をお祈り致します。

編集室から

岡山畜産便り(四月号)
第二四巻 第四号
昭和四十八年(通巻)第二百四十五号
発行所 岡山県岡山市上総五日市
編集所 岡山県岡山市下石井原茂行
印刷所 岡山市八八五二七五六一番
定価 印刷部 電話 代表 四九五一
電話 部 表 九 送 料 共 一 番

1. 当該事業労働力(氏名、年令、従事日数など)
2. 借入時の資産状況(資産、負債および資本)
3. 損益計算書(当該年度の収益、生産原価等)
4. 生産原価計算書(当該年度の生産原価)
5. 損益計算(計画)書(目標到達年次における収益、生産原価等の見積り)
6. 生産原価計算(計画)書(目標到達年次における生産原価の見積り)
7. 施設投資計画および資金計画(事業期間における年次別の投資計画、それに見合う資金の調達計画、自己資金および借入金)
8. 生産の実績および計画表
 - A 生産実績(当該年度の出荷豚数、搾乳量等)
 - B 飼養計画表(事業期間中の家畜頭数の変化等)
 - C 飼料作物輪作体系図(事業期間中の飼料作物作付面積、作付順序)
 - D 飼料の生産および購入(事業期間

三、借入金の限度額

借入金の導入に当たっては事業の目的にかなったものを適切に利用することが肝要であるが、その前提として経営における借入金の限度について検討しておく必要がある。いくら高い経営成果が予想されても、負債の返還が生活を圧迫するようでは困るからである。
前述の制度資金においても、事業費の八〇%以内とか、金額の上限を定めて一応の歯止めはしてある。また、近代化資

中の生産・購入資料の種類・量、購入資料については金額)
このように順を追ってみると、一定の記録資料による生産なり経営実績の把握と若干の今後の見通しがあれば、借入申込書は比較的容易に作成しうるものであることがわかる。もともと、これらの資料や計画は、その精粗はともかく計画と実施と反省のサイクルをなす経営の運営に当たって不可欠のものであって、この程度の計画の策定をわずらわしがたては一人前の経営者とは言えない。もともと、計画書の様式は定められたものであって、たとえば費目構成やその中味の詳細については、関係窓口や農業改良普及員等の指示・指導を仰ぐべきであらう。

第2表 借入金限度額の算出方式(酪農の例)

過去の年間所得	=	成牛1頭当たり所得	×	成牛頭数規模	=	現金余剰 借入金額
年間所得 (現金収入)	-	(狭義生活費+教育費+文化費+税金)	=	現金余剰 借入金額		
年間の償還金額	×	償還期間 (含据置期間)	=	借入金の限度額		
借入金の限度額	+	成牛1頭当たり 借入金の限度額	=	借入金の限度額		

金借入申込書の末尾には、借入金の安全性をみるために「経営指標」なるものが経営指導班によって添付されるようになってもいる。しかし、前者は特定の事業に係る借入金についての歯止めであり、後者は経営を「企業」とみなした場合の安全性指標であって、生活面との関連から来る借入金の限度をみるには不十分である。
一定の生活水準の維持を前提にした借入金の限度額を見出すには第二表のような算式を用いるとよい。
この方法は、年間の借入金償還金額の限度を、年間の現金所得と現金家計費(税金含む)の差額内に収めるべきであるという考え方であって、将来における所得

おわりに

借入金をしなくてはならない場合には、借金しないに越したことはないが、どうしても借入金に依存しなければならぬ時には、自分の経営における借入金の限度を十分わきまえた上で適切な資金の選択・導入をはかることが必要である。また、借入手続きとしてのみでなく、資金管理の側面からも、経営記録にもとづく経営実績の把握と合理的な経営計画の樹立が望まれる。
以上のことをくり返し強調して、結びにかえたい。

の見込額と家計費額の見通しが与えられれば、誰にでもたやすく算出することが出来る。
こうして、借入金の導入に当たっては、どのような資金を借入れるかを考える前に、どの程度の借入金が可能かをまず考慮すべきである。

